

技術概要書（様式）

※別紙2

| | | | |
|-----------|--|------|--------------|
| 技術分類 | 安全・防災 維持管理 環境 コスト ICT 品質 | | |
| 技術名称 | ネプラス工法 | 担当部署 | 代表取締役 |
| NETIS登録番号 | HR-060021-V | 担当者 | 彌永 敏明 |
| 社名等 | 株式会社 アーテック | 電話番号 | 0973-23-9083 |
| 技術の概要 | <p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>一般的工法は人力で側溝上部を取り壊し現場で型枠を組み、コンクリートを打設し一定の養生期間を設け蓋を設置し開放するか、周辺を掘削し既設の側溝を撤去した後、新たな側溝を設置していた。</p> <p>本工法は損傷部の側溝上部を短期間で改修することから今まで施工が困難だった乗入れ箇所、道路横断箇所、道路側溝、街渠柵などの施工を容易にする。その他、側溝上部のみの施工であるため現場での発生する建設廃材も極力抑えた環境に配慮した技術である。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>損傷部の側溝上部を短期間で改修することから今まで施工が困難だった乗入れ箇所、道路横断箇所、道路側溝、街渠柵などの施工を容易にする。その他、側溝上部のみの施工であるため現場での発生する建設廃材も極力抑えた環境に配慮した技術である。従来工法のように側溝上部を人力で取壊し上部だけ修繕する工法か、周辺を掘削し側溝全部を取替えるのではなく、損傷がある側溝上部のみを自社開発の横切りカッターで切断後、上部補強金具を設置する工法である。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>従来工法のように側溝上部を人力で取壊し上部だけ修繕する工法か、周辺を掘削し側溝全部を取替えるのではなく、損傷がある側溝上部のみを自社開発の横切りカッターで切断後、上部改修製品を設置する工法である。側溝内部より切断することで掘削作業を伴わないため残土が発生しない。また隣接している構造物等にも全く影響せず今まで施工困難だったところも施工可能になった。1日8m～15mの(条件により変動あり)施工が可能で即日開放できる</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>従来工法のように側溝上部を人力で取壊し上部だけ修繕する工法か、周辺を掘削し側溝全部を取替えるのではなく、損傷がある側溝上部のみを自社開発の横切りカッターで切断後、上部改修製品を設置する工法である。</p> <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関 68 件（九州 0 件、九州以外 68 件） 自治体 1473 件（九州 0 件、九州以外 1473 件） 民間 241 件（九州 2 件、九州以外 239 件）</p> | | |

6. 写真・図・表

①即日開放が可能

8～10mを1日で施工。即日開放でき、通行車両、地域住民への不便が大幅に解消する。

②交通規制による社会的損失を削減

工期を大幅に短縮でき、交通規制による社会的損失を削減できる。

③構造物が接近していても施工可能。

側工の内側からの施工のため、ブロック塀などの構造物が近接していても影響を与えない。

④建設廃材は従来工法の80%減。

傷んでいる上部のみカットし、健全な下部はそのまま使用するため、建設廃材を80%削減。

⑤掘削残土は従来100%減少。

掘削しないため、掘削残土の発生はゼロ。

⑥仮排水路不要で経費削減。

傷んだ上部のみ更新するため、仮排水路の架設が不要で、経費を削減できる。

⑦さまざまな条件下でも施工が可能。

10年以上の施工実績により、さまざまな条件下の施工にも対応が可能。

側溝横断面切断機(サイドカッティングマシン)

即日交通解放可能！(10m/日)

